

## 力をつける授業を どう創るか

東北学院大学文学部教育学科  
教授 佐藤 正寿

佐藤 正寿 (さとう まさとし)  
東北学院大学文学部 教授



- 1962年秋田県生まれ
- 1985年から岩手県小学校教員
- 2018年から現職  
(社会科教育法、学級経営論、教育学演習等を講義)
- 岡山県には8回訪問  
(笠岡市7回、岡山県総合教育センター1回)

## 内 容

- 1 授業力をつける  
教材提示力と発問力
- 2 授業設計力をつける  
情報活用能力を伸ばす
- 3 教材研究力をつける  
先達から学ぶ

1

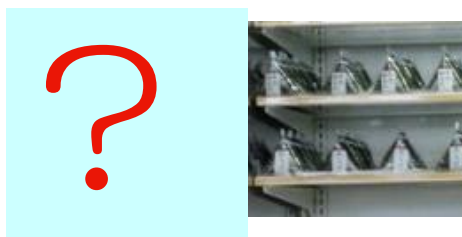
## 授業力をつける —教材提示力と発問力—

### 授業力の違い

- 何を提示するか **教材提示力**
- どのように提示するか
- どのように発問するか **発問力**

同じ学習指導案でも教師の  
授業行為が異なる

### 資料にしかけ+発問



おにぎりの隣には何がありますか？

## 発問後が重要



## 追究活動に誘う

2

## 授業設計力をつける —情報活用能力を伸ばす—

### 新学習指導要領のポイント（情報活用能力の育成・ICT活用）

- 平成29年3月に小学校及び中学校、平成30年3月に高等学校の新学習指導要領を公示。
- 新学習指導要領を小学校は令和2年(2020年)度、中学校は令和3年(2021年)度から全面实施。高等学校は令和4年(2022年)度から学年進行で実施。

#### 小・中・高等学校共通のポイント（総則）

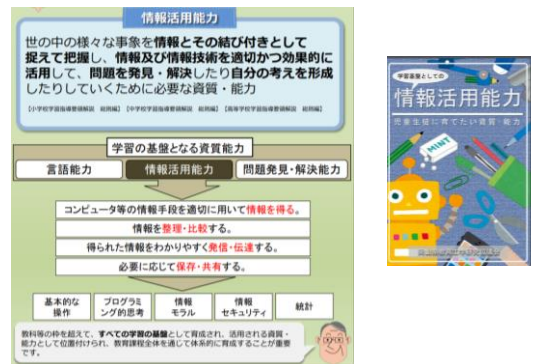
- **情報活用能力を、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け**  
総則において、児童生徒の成長の段階を考慮し、言語能力、情報活用能力（情報モラルを含む。）等の基盤となる資質・能力を育成するため、各教科等の特性を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を定めるものとするを明記。（総則）
- **学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実に対応**  
総則において、情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータと情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらと適切に活用した学習活動の充実を図ることに配慮することを明記。（総則）

#### 小・中・高等学校別のポイント（総則及び各教科等）

- **小学校においては、文字入力など基本的な操作を習得、新たにプログラミング的思考を育成**  
各教科等の特質に応じて、児童がコンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作性を習得するための学習活動や、プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力等を身に付けるための学習活動を計画的に実施することを明記。（総則）
- **中学校においては、技術・家庭科（技術分野）においてプログラミング、情報セキュリティに関する内容を充実**  
「技術・家庭科のプログラミング」に加え、「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」等について学ぶ。（技術・家庭科（技術分野））
- **高等学校においては、情報科において共通必修教科目「情報Ⅰ」を新設し、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベースの基礎等について学ぶ。**

文部科学省（2019）  
[https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/micro\\_detail/\\_jcsFiles/aikefile/2019\\_05\\_21/1416331\\_001.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_jcsFiles/aikefile/2019_05_21/1416331_001.pdf)

### 岡山県教育工学研究協議会HPより



### 岡山県教育工学研究協議会HPより

#### 指導改善のポイントは？

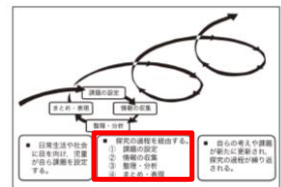
児童生徒の情報活用能力を育成するため、次の点を意識して授業改善に取り組んでみましょう。

- ・各教科等の指導には、**情報活用能力の育成**につながるねらいや内容が含まれていることを意識しましょう。
- ・**課題を設定する、情報を収集する、整理・分析する、まとめ・表現する**など、一連の学習活動を計画しましょう。
- ・課題解決の過程において、より深みのある主体的な解決に向けた**ICT活用**もできるようにしましょう。
- ・ICTの特長を生かした学習活動を行う際には、**情報や情報手段の特性の理解や情報モラル**などの学習も進めましょう。

【参考】『21世紀を生き抜く児童生徒の情報活用能力育成のために』（2015、文部科学省）

### 探究的な学習における児童の姿（文部科学省）

課題の設定  
情報の収集  
整理・分析  
まとめ・表現



事例・6年算数「クラス内でデータを収集して分析する数学的活動－閉眼片足立ちの記録を使って－」

### ◎実践の概要

- ・名古屋市立熊の前小学校
- ・松田翔伍教諭
- ・「資料の調べ方」の活用（5時間）  
（題材・閉眼片足立ち）

出典「データの活用」領域における数学的活動  
愛知教育大学・青山和裕氏  
『初等教育資料』No966.2018年4月号  
（文部科学省 東洋館出版社）

事例・6年算数「クラス内でデータを収集して分析する数学的活動－閉眼片足立ちの記録を使って－」

### ◎活用部分の流れ

課題 MTKゲーム  
「男子と女子のどちらの方が記録がよいか」

データ収集  
平均を求めたり、散らばりを柱状グラフに

まとめたグラフなどから、どちらの記録が  
よいと言えるか読み取り判断

『初等教育資料』No966.2018年4月号  
（文部科学省 東洋館出版社）

事例・6年算数「クラス内でデータを収集して分析する数学的活動－閉眼片足立ちの記録を使って－」

### ◎新たな課題

課題 「どんな人が記録がよいか」

調べたい項目を設定し、再度調査  
15項目のアンケートで143件のデータ

調べたいテーマごとにグループ  
4つを選択し、分析に取り組む

『初等教育資料』No966.2018年4月号  
（文部科学省 東洋館出版社）

事例・6年算数「クラス内でデータを収集して分析する数学的活動－閉眼片足立ちの記録を使って－」

### ◎結果

「リーダーになりたいですか」

「はい」と答えた人の平均値約49秒  
「いいえ」と答えた人の平均値約40秒  
→頑張りやが多いからという結論

『初等教育資料』No966.2018年4月号  
（文部科学省 東洋館出版社）

事例・6年算数「クラス内でデータを収集して分析する数学的活動－閉眼片足立ちの記録を使って－」

### ◎結果

「ピーマンが好きですか」

「はい」と答えた人の平均値約52秒  
「いいえ」と答えた人の平均値約38秒  
→野菜好きの人の方がバランス力がある  
という結論

『初等教育資料』No966.2018年4月号  
（文部科学省 東洋館出版社）

事例・6年算数「クラス内でデータを収集して分析する数学的活動－閉眼片足立ちの記録を使って－」

### ◎2回の問題解決サイクル

- 1 基本的な手法による
- 2 各自がテーマを設定し  
広がりのある問題解決

3

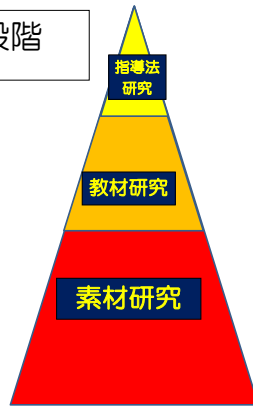
## 教材研究力をつける —先達から学ぶ—

### 教材研究の3段階 (野口芳宏)

- 素材研究…「作品」に正対  
5割
- 教材研究…教材を研究  
3割
- 指導法研究…指導方法の研究  
2割

### 教材研究の3段階 (野口芳宏)

素材研究の  
充実が  
授業の深さに  
つながる



有田和正

「これだけは何としても教えたい」  
ことを教材研究で鮮明にもつ

しかし教えてはならない

↓  
子どもが追究したいものに転化

優れた問題解決者を育てる  
(奈須2020)

岡山県教育工学研究協議会

「若手の先生方の授業力を高めるセミナー」(2020.11.28)

## 力をつける授業を どう創るか

東北学院大学文学部教育学科  
教授 佐藤 正寿